

令和5年度 事業報告

I. 会議の開催状況

1. 理事会

- (1) 令和5年5月12日 第45回理事会は理事及び監事全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。
- ①評議員候補者の評議員会への提案について
- (2) 令和5年5月24日 第46回理事会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。
- ①令和4年度事業報告及び収支決算について
 - ②評議員会の開催について
 - ③地方創生・経営健全化計画について
 - ④報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について
- (3) 令和5年7月14日 第47回理事会は理事及び監事全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。
- ①評議員候補者の評議員会への提案について
- (4) 令和5年8月24日 第48回理事会は理事及び監事全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。
- ①評議員候補者の評議員会への提案について
- (5) 令和6年2月5日 第49回理事会は理事及び監事全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。
- ①評議員候補者の決定について
 - ②評議員会の開催について

2. 評議員会

- (1) 令和5年5月24日 第29回評議員会は評議員全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。
- ①評議員の選任について
- (2) 令和5年6月21日 第30回評議員会は評議員全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。
- ①令和4年度事業報告及び収支決算について
 - ②役員の選任について
 - ③評議員の選任について
 - ④報告 地方創生・経営健全化計画について
 - ⑤報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について

(3) 令和5年7月28日 第31回評議員会は評議員全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。

①評議員の選任について

(4) 令和5年9月11日 第32回評議員会は評議員全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。

①評議員の選任について

(5) 令和6年2月20日 第33回評議員会は評議員全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。

①評議員の選任について

(6) 令和6年3月28日 第34回評議員会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。

①役員の選任について

②評議員の選任について

③報告 令和5年度事業計画及び事業会計予算の補正について

④報告 令和6年度事業計画及び事業会計予算について

⑤報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について

3. 監査

令和6年5月20日及び5月21日 令和5年度決算について監事から監査を受けた。

監査の結果、事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書は適正であると認められた。

4. 賛助会員合同会議

令和5年8月24日 賛助会員との連携を深めるため、合同会議を徳島県立産業観光交流センターにおいて開催し、記念講演を行ったほか、観光事業功労者の表彰を行った。

5. 法人の経営等に関する情報公開

定款、事業計画書、予算書、事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書をホームページで公開している。

II. 業務の概要

1. 観光振興事業

観光振興事業では、観光情報サイト「阿波ナビ」やSNSを活用し、タイムリーな情報発信に努めたほか、市町村やDMO等観光関連団体と連携した新たな観光資源の発掘や支援、観光商談会等への参加による誘客促進に努めた。

また、県からの受託事業として、県内の観光産業を担う人材の育成のため、「とくしま観光アカデミー」の運営を行う「とくしま観光人づくり事業」や、Withコロナでの県内観光産業を支援するため、旅行商品代金の助成等を行う「みんなで！徳島旅行割事業」等を実施した。

2. コンベンション振興事業

コンベンション振興事業では、「国際MICEエキスポ」や「中国四国地区コンベンション誘致懇談会」に参加するとともに、コンベンション主催者に対して、施設利用プランや関係事業者の紹介などの情報発信と誘致活動に努めたほか、主催者に対する開催費の助成等を行った。また、観光庁事業の採択を受け、ユニークメニューや各種研修を実施した。

海外からのMICE誘致等促進事業としては、国内で開催の商談会「VISIT JAPANトラベル& MICE マート」や現地で開催された旅行博等への参加、現地での営業を実施した。また、観光庁事業の採択を受けたFIT向けプランの拡充や、訪日教育旅行の促進など、大阪・関西万博に向けた誘客に努めた。

3. 施設等管理運営事業

徳島県立産業観光交流センター及び徳島県立男女共同参画交流センターの指定管理運営事業については、アスティとくしま開館30周年を記念したモニュメントの作成、コラボイベントなどを実施するとともに、安全・安心を第一義に、秋の阿波おどり、アスティ奏舞祭などの自主事業等を開催した。また、経済波及効果の大きい興業を誘致するため、開催支援助成金の交付、需要掘り起こしのための主催者訪問などを実施した。

また、民間企業と共同で指定管理運営事業を行う徳島県立渦の道及び大鳴門橋架橋記念館については、引き続き指定管理業務（令和5年度～令和9年度）を担うこととなったことを踏まえ、これまでのノウハウ等を活用した、利用促進事業等を実施した。

今後も「2025大阪・開催万博」、「2027ワールドマスターゲーム関西」や「大鳴門橋自転車道」の開通なども見据え、インバウンド客や様々なニーズに対応できるよう受入体制の強化等に努める。

令和5年度 事業報告（附属明細書）

観光振興事業

1. 自主事業

（1）観光宣伝・情報発信事業

① 観光情報等の発信事業

本県への観光誘客を促進するため、観光ガイドマップをはじめとする各種パンフレットの配布や観光案内対応、観光キャンペーンへの参加を実施した。

また、令和5年5月にリニューアル公開した観光情報サイト「阿波ナビ」の情報更新及び内容の充実に務めたほか、SNS（Instagram、Facebook、X）を積極的に活用し、情報発信の強化を図った。

観光情報サイト「阿波ナビ」令和5年度PV数 6,283,230pv

阿波ナビInstagram フォロワー数 1.3万人

阿波ナビFacebook フォロワー数 5,200人

阿波ナビX フォロワー数 3,600人

② 徳島観光情報ステーション管理運営事業

淡路島南パーキングエリア内にある観光情報ステーションにおいて、徳島県及び県内市町村のパンフレットを設置し、情報発信力強化を図り、観光客の誘致促進に努めた。令和5年度においては、パンフレットの補充・更新をGW前など11回実施した。

③ 徳島魅力あふれる観光素材収集活用事業

県内在住の写真家宮武健仁氏が撮影した県内各地の観光資源写真50点を提供していただき、当協会が著作権を有する自由度のある観光素材として、活用できるようにした。

④ 徳島国際観光・物産交流特使制度事業

本県の観光と物産の魅力を発信し訪日客等の誘致につなげるため、国内外在住の徳島ファンの方々を「徳島国際観光・物産交流特使」に委嘱し、特使の人脈を活かした徳島の観光PRを推進した。

⑤ 感動とくしま再発見！フォトコンテスト事業

徳島県の物産品や観光資源の魅力を再認識し、県内外に発信するため、徳島県物産協会と当協会の共催により「感動とくしま再発見！フォトコンテスト」を実施した。応募数452作品（物産部門78作品、観光部門374作品）の中から、最優秀賞（1点）、優秀賞（3点）、奨励賞（10点）及び審査員特別賞（2点）を選考し、これらを活用して「とくしま観光カレンダー」を作成した。

〔観光部門〕

優秀賞	「朝日を浴びるコウノトリ」	清水 洋一 氏
優秀賞	「精魂の舞う夜」	田中 敦 氏
奨励賞	「Lumi è re et espoir あまべ」	小泉 美幸 氏
奨励賞	「一の森の朝」	川内 秀喜 氏
奨励賞	「はな花火」	森野 淳 氏
奨励賞	「吉野川橋梁と菜の花」	藤保 健二 氏
奨励賞	「染まる三嶺」	小泉 秀城 氏
審査員特別賞	「朝日を浴びるコウノトリ」	清水 洋一 氏

〔物産部門〕

最優秀賞	「阿波藍すくも作り」	酒井 利恵 氏
優秀賞	「手延べそうめん」	おどみ岐諷 氏
奨励賞	「Natural indigo nail」	佐條 静花 氏
奨励賞	「干柿作り」	大栗 隆夫 氏
奨励賞	「暑い夏を乗り越えよう」	団 芳男 氏
奨励賞	「きらめくわかめ漁」	山田 喜吉 氏
奨励賞	「美しい棚田」	野藤みきよ 氏
審査員特別賞	「阿波藍すくも作り」	酒井 利恵 氏

⑥ 冬の阿波おどり魅力発進支援事業

徳島県への観光誘客を促進するため、旅行会社が造成する「冬の阿波おどり」をはじめとした徳島の歴史・文化関連施設を組み込んだ冬期企画旅行商品に対して、助成を行い、旅行商品造成の促進を図った。

（助成ツアー数） 2件

（送客人数） 60名

(2) 観光客誘致促進事業

① 未来を創るSDGsプログラムブラッシュアップ事業

県内DMO及び高等教育機関と連携し、既存の観光資源や教育旅行向けプログラム等を、SDGsプログラムとしてブラッシュアップし、他地域と差別化をすることで、大坂・関西万博等に向け誘客促進に努めた。

② 四国域内流動促進事業

四国4県観光（物産・コンベンション）協会が構成する四国観光協会連合が実施する「第8回おもてなし感激大賞2023」の準大賞を「JRホテルクレメント徳島」が受賞した。

③ アフターコロナ魅力発信事業

東京・大阪・名古屋の三大都市圏をはじめとした誘客の見込まれる地域において、関係機関や観光事業者と連携して観光イベント等に参加し、本県の観光情報を発信し、アフターコロナにおける観光誘客に努めた。

④ メディア活用情報発信事業

ソーシャルメディア（SNS）やWEB配信等をはじめとするメディアを活用し、ターゲットを絞った効果的な県内観光情報の発信を行い、誘客促進に努めた。

また、メディアの取材支援や情報提供を積極的に行い、記事掲載等による旅行喚起を図った。

KE L L Y & 日刊KE L L Yでの掲載（2024年5月号）

（3）観光客受入対策事業

① 外国人受入態勢整備事業

訪日台湾教育旅行で人気のある、三味線餅つき体験、三味線体験を繁体字翻訳し、台湾の生徒が体験するときに活用した。

② 観光関連事業団体の連携支援事業

県内の観光ガイド・観光ボランティアガイド団体等に向けて、当協会が実施するセミナー情報を提供した。

2. 県からの受託事業

（1）「オール徳島」観光誘客プロモーション事業

① 「オール徳島」で旅行需要を喚起させるため、官民一体となった「観光誘客プロモーション」を実施し、本県の認知度及び魅力の向上を図った。

ア 「#徳島あるでないで」キャンペーンの実施

個人旅行や団体旅行、教育旅行など、大手旅行会社や運輸機関の強みとする形態の旅行やテーマに特化した誘客プロモーションを実施した。

- ・カメラガールズツアー
- ・アイドルファンクラブツアー
- ・テレビ神奈川タイアップ（アイドルの旅番組）
- ・BSよしもとタイアップ（お笑い芸人の旅番組）

イ 旅行会社向けセールス等の実施

旬の観光素材や助成制度を売り込むため、主要都市において、観光セミナー、セールス等を実施し、本県への旅行商品の造成を促進した。

（ア）旅行会社への営業

旅行会社主催の商談会等に参加し、徳島県の観光地や旅行商品、助成制度の説明を行った。

- ・阪急交通社 中国四国地区商談会

実施日：令和5年6月8日（木）、令和5年12月13日（水）

対象者：阪急交通社の全国の支店の企画・造成担当者等

- 四国観光商談会2023

実施日：令和5年9月27日（水）、令和5年10月5日（木）

対象者：西日本及び東日本の旅行会社の商品企画担当者等

- 「オール徳島」観光商談会

実施日：令和5年11月21日（火）

対象者：旅行会社の首都圏の支店の企画・造成担当者等

(1) その他

鳴門海峡の渦潮を世界遺産へ！観光PRキャラバン

実施日：令和6年2月16日（金）

対象者：広島県内の旅行会社、マスコミ及び広島駅構内通行者

内容：観光素材のPR、助成金の説明等

② 県内宿泊事業者や大手旅行会社やOTA、運輸機関とタイアップし、各社の強みやデータを生かした誘客キャンペーンとして「#徳島あるでないで」キャンペーンを実施し、県外からの誘客を促進し、宿泊者数の増加を図った。

実施期間：令和5年11月1日～令和6年1月31日

実施会社数：8社（旅行会社4社、運輸機関2社、OTA2社）

(2) 周遊促進！徳島観光すいすい事業

観光誘客を促進するため、旅行会社が造成する企画旅行商品に対して貸切バス料金の一部を助成した。

（ツアー数）113件

（バス台数）229台

（集客人数）7,211名

※ 徳島県版全国旅行支援事業「みんなで！徳島旅行割」とタイアップした団体旅行助成を優先していたため、令和5年度より減少した。

(3) とくしまロケーション・ブランド発信事業

撮影関係者に対する有用な情報提供や徳島でのロケ誘致活動を実施するとともに様々なロケ支援を行い、メディアを介した本県観光情報発信の露出増加に努めた。

（問い合わせ件数）72件

（支援件数）37件

(4) 魅力あふれる「阿波とくしま」観光誘客推進事業

観光誘客を促進するため、阿波ナビやSNS、観光パンフレット等での情報発信を行った。

また、以下のとおり県内外臨時観光PRブースの運営を行った。

- クルーズ船「Zhao Shang Yi Dun（チャイナ・マーチャンツ・エデン）」

（開催日）令和5年6月28日（水）

（寄港場所）小松島港金磯岸壁

- 第108回トップマスターズモード発表会

（開催日）令和5年9月26日（火）

（開催場所）徳島県立産業観光交流センター（アスティとくしま）

- とくしまSDGs シンポジウム2023
（開催日）令和5年10月30日（月）
（開催場所）JRホテルクレメント徳島
- とくしま国際消費者フォーラム2023
（開催日）令和5年10月31日（火）
（開催場所）JRホテルクレメント徳島

（5）とくしま観光人づくり事業

県内の観光産業を担う人材の育成・活用のため、「学びの場」として、観光関連事業者や高等教育機関等との連携による「とくしま観光アカデミー」の運営を実施した。

（実施期間）令和5年8月9日（水）～令和6年3月31日（日）

（実施内容）オンライン7講座、ハイブリッド講座7講座、演習講座2講座を実施した。

① 共通講座（2講座）内容：観光学基礎

② 専門講座（4講座×3コース）

ア ビジネスコース

目的：観光人材の即戦力強化

対象：観光事業従事者

内容：観光経営学、観光マーケティング論 ほか

イ チャレンジコース

目的：次代の観光産業の担い手育成

対象：高校生、大学生、社会人

内容：地域観光学、観光キャリアデザイン論 ほか

ウ 地域で活躍コース

目的：地域で活躍する観光人材の創出

対象：県民、観光ボランティア、徳島GGクラブ会員、アクティブシニア

内容：地域・地元学、ホスピタリティ論 ほか

③ 演習講座（1講座×3コース）

ア ビジネスコース・チャレンジコース

相互交流を図るため、合同受講とし、課題演習を実施した。

日時：令和6年1月20日（土）14：00～16：30

場所：シビックセンター

参加者：24名

イ 地域で活躍コース

ガイド実地演習及び参加者による交流会を実施した。

日時：令和6年1月13日（土）13：00～15：00

場所：阿波おどり会館及び周辺市街

参加者：10名

（参加申込数）172名、各コースにおける全講座修了者は14名
申込者限定でアーカイブ配信も実施

(6) 着地型観光・コンベンション事業

県内の着地型観光プラン等を作成し、旅行AGTへの売り込みを行うとともに、コンベンションの誘客促進や開催決定後のサポートを行った。

(7) 徳島ー福岡線利用による旅行商品造成促進事業

徳島阿波おどり空港における徳島ー福岡線の更なる利用促進・需要喚起を目的として、徳島ー福岡線利用による県内での宿泊を含む団体ツアー旅行商品に対する助成を行った。

(助成ツアー数) 3件

(集客人数) 44名

(8) 「みんなで！徳島旅行割」実施事業

全国から徳島県へ来訪・周遊する旅行者の観光消費の喚起及び旅行機運の醸成を図ることで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受ける徳島県内等の観光関連事業者を支援した。

(実施期間)

第3期：令和5年4月1日(土)～令和5年6月30日(金)
ただし、4月29日(土)から5月7日(日)までを除く。

第4期：団体旅行を対象に次の期間実施

日帰旅行

令和5年7月1日(土)～令和5年7月22日(金)

宿泊旅行

令和5年7月1日(土)～令和5年7月22日(金)

(7月22日(土)チェックアウト分まで)

① 「みんなで！徳島旅行割」

(実施内容)

徳島県内への旅行における「旅行商品代金の割引」及び「宿泊料金の割引」を次のとおり実施した。

割引率20%

割引上限額 交通付旅行商品5,000円(一泊当たり)

(鉄道、バス、タクシー・ハイヤー、航空、フェリーなど)

上記以外3,000円(日帰り旅行含む)

② 地域限定クーポン

(実施内容)

「みんなで！徳島旅行割」を利用して宿泊等をする場合、県内の観光や交通に利用できる地域限定クーポン券を登録宿泊施設等から提供した。

電子クーポン

クーポン付与額：平日2,000円、休日1,000円

※参加施設等数(リージョンペイシステム登録事業者)

宿泊施設 : 194施設

旅行会社 : 3,000社

利用対象施設 : 1,449施設

(9) 「Visit Tokushima」千客万来事業（ニューツーリズムの誘致）

教育旅行、スポーツツーリズムやサステナブル・ツーリズムなど、本県ならではのコンテンツと観光を組み合わせた「ニューツーリズム」のPR及びSIT旅行商品の造成を図った。

(10) 徳島県「観光周遊ルート旅行商品造成支援事業」

徳島県内の地域連携DMOが造成した観光コンテンツ、旅行商品等を活用し、東部～西部圏域ルート及び東部～南部圏域ルートの旅行商品造成を促し、販売に繋げるとともに、県内で旅行者の周遊性・滞在性を高め、持続可能な観光地づくりを推進した。

① コンテンツの選定と旅行商品案の作成

ア 徳島県観光に関するアンケート調査の実施（回答数：3,955件）

イ 商品化に向けた可能性視察と商品造成（東部～南部エリア）

② 旅行商品化に向けたファムの実施

ア タイ（東部～西部エリア）

イ シンガポール・マレーシア（東部～西部エリア）

ウ 国内（東部～南部エリア）

③ 旅行商品化に向けた営業資料の作成

ア 欧米豪（東部～西部エリア）

イ ヴァーチャル領域を活用した情報発信（東部～南部エリア）

(11) タイにおけるエージェント営業業務

徳島県への航空路線誘致及び観光誘客を推進するため、タイにおいて効果的に営業活動を行うエージェントを確保し、タイにおいて実施する現地航空会社及び旅行会社等へのセールス活動に対する支援を実施するとともに、継続的かつタイムリーな営業活動を展開することにより、本県への航空路線就航及び旅行商品造成を促進した。

現地エージェント：Nittahi Provider Co.,Ltd.

活動内容

・タイでのコーディネイト活動

「ビジット・ジャパン・FITフェア」徳島県ブース

「TITF（タイ国際旅行博）」徳島県PR

「JAPAN EXPO THAILAND 2023」ほか

・観光情報の提供及びセールス活動

日系・タイローカル旅行会社への個別セールスを実施（43社）

令和6年3月にオンライン商談会を開催（タイ旅行会社5社）

3. 収益事業

(1) 自主財源の確保

自主財源を確保するため、徳島県観光ガイドマップ、とくしま観光カレンダー等の販売により収益拡大に努めた。

また、賛助会員の増強による組織基盤の強化に努めた。

① 徳島県ガイドマップの作成

2023年度版の徳島県観光ガイドマップを7万部増刷し、2024年度版の徳島県観光ガイドマップを8万部作成した。

② とくしま観光カレンダーの販売

(売上額) 946,100円

コンベンション振興事業

1. コンベンション振興事業

(1) 誘致対策事業

① コンベンショントレードショーへの参加

ア 第33回国際MICEエキスポへの参加

各種コンベンションの主催者に対しては、コンベンション施設・宿泊施設情報や、助成制度等各種支援内容、ハイブリッド開催でのWEB環境などを提案し、本県へのコンベンション誘致に努めた。

(開催日程) 令和6年2月15日(木)

(場 所) 東京国際フォーラム

(来場者数) 795名

イ. 中国四国地区合同コンベンション誘致懇談会への参加

中国四国地区9県15都市のコンベンション推進団体に構成される

「中国四国地区コンベンション誘致推進協議会」主催で開催された。

多くのコンベンション主催者が来場され、本県のコンベンション施設や助成制度等の説明を行い、誘致に努めた。

(開催日程) 令和5年12月7日(木) 15:00~20:00

(場所) 品川プリンスホテル

(来場者数) 110名

② 企画提案・視察支援事業

コンベンション主催者に対して、本県での開催におけるコンベンション施設利用プランや関連事業者を紹介した。

また、本県をコンベンション開催候補地として検討中の主催者に対しては、視察支援を実施するとともに、会場や宿泊施設の空き状況等の確認や、各種調整を行った。

③ 「とくしまコンベンション誘致推進協議会」の運営

産官学民で構成する協議会会員にコンベンションカレンダーや助成制度の情報を提供するとともに、県内の各種関係団体と連携した誘致活動を推進した。また、協議会の開催に合わせ会員に対しMICE・観光振興講演会を観光庁事業を活用し実施し、コンベンション振興に努めた。

ア とくしまコンベンション誘致推進協議会及びMICE・観光振興講演会の開催

（開催日時）令和5年11月13日（月）15：00～

（開催場所）アスティとくしま 2F 第5会議室

（開催内容）・とくしまコンベンション誘致推進協議会

・MICE・観光振興講演会

「演題」MICEにおけるサステナビリティ

「講師」松原 務 氏

（日本コンベンションサービス株式会社グローバル・
ゴール推進リーダー）

（参加者数）30名

④ コンベンションセミナーの開催

県内へのMICE誘致に向けたセミナーを、日本政府観光局及び徳島大学と連携し実施した。

ア 「国際会議開催支援セミナー」の開催

（開催日時）令和6年1月25日（木）17：15～

（開催場所）徳島大学地域連携プラザ「地域連携大ホール」

（開催内容）・徳島県の国際会議誘致の取組・支援について

・国際会議誘致活動の事例と取組について（日本政府観光局）

（参加者数）13名（WEB参加を含む。）

⑤ 広域連携による誘致促進事業

中国・四国地域のコンベンション団体で構成する協議会や、その他地域のコンベンション団体と連携し、効果的な誘致促進に努め、各種関係機関が開催するセミナー等に参加するとともに、同規模の学会等が開催される都市のMICE関連機関と連携し、積極的な情報収集に努めた。

⑥ 観光庁「コンベンションビューロー支援事業（コンベンション特化）」
の実施

観光庁の「コンベンションビューロー支援事業」選定地として採択を受け、国内有識者による伴走型のトレーニング及びコンサルティングを実施した。全5回の研修を実施し、タグライン「spark your creativity」の開発も行った。

第1回キックオフ研修

（開催日時）令和5年9月11日（月）10：00～17：00

（開催場所）AP東京八重洲（東京都中央区）

第2回研修

(開催日時) 令和5年10月3日(火)・4日(水)
10:00~17:00

(開催場所) アスティとくしま2階 第6会議室

第3回研修

(開催日時) 令和5年11月13日(月)・14日(火)
10:00~17:00

(開催場所) アスティとくしま2階 第6会議室及び第5会議室

第4回研修

(開催日時) 令和6年1月31日(水)・2月1日(木)
10:00~17:00

(開催場所) アスティとくしま2階 第6会議室

第5回ラップアップ研修

(開催日時) 令和6年2月14日(水) 10:00~17:00
(開催場所) AP日本橋(東京都中央区)

(2) 受入支援事業

① コンベンション開催支援助成金の交付事業

コンベンション主催者に対し開催費を助成した。

(交付件数) 47件

(交付金額) 38,100,260円

② 主要観光施設・飲食店の紹介及び優待割引券の提供事業

開催されたコンベンションでは、主要観光施設の優待券や各種観光パンフレット等を提供した。また、WEB併催又はWEB開催となったコンベンションにおいては、主催者ホームページで本県の観光情報の紹介を行うなど、魅力的な体験観光の紹介をした。

(優待券の配布) 37件 9,881部

③ MICEおもてなし事業

全国規模の大規模コンベンションに対しては、徳島駅及び徳島阿波おどり空港での歓迎看板を設置した。また、会場での物産展の開催について、関係団体と連携し、ブースを設置した。WEB開催となったコンベンションに対してはWEB上で公開する動画や写真の提供を行った。

(歓迎看板の設置) 11件

④ MICEワンストップ事業

コンgresバッグの手配、記念品・特別講演の企画提案、弁当事業者の紹介等を行った。大規模コンベンション開催時には、県内交通事業者への協力依頼を行うとともに、シャトルバス運行の支援を行った。また、MICEの開催効果の拡大等を目的とした、観光庁実証事業を活用し酒蔵でのユニークメニューを実施した。

(コンgresバッグの手配) 9件 2,750枚

(酒蔵でのユニークメニューの実施)

会議名：第7回省エネルギー及び汚染防止のための
熱/物質移動の進歩に関する国際ワークショップ
日 時：令和5年8月5日(土) 19:30~21:30
場 所：本家松浦酒造
参加者：136名(うち海外から100名)

⑤ 関係団体との連携

国内及び国際コンベンションの誘致を促進するため、観光庁やJNTO(日本政府観光局)、JCCB(日本コングレス・コパニョビュロー)等のノウハウや情報を活用するとともに、県や市町村、大学等の関係機関と連携し、開催計画などの情報収集や意向調査を行った。

(3) 海外からのMICE誘致等促進事業

① スペシャル インタレスト とくしま(SIT) 発信事業

観光庁の支援事業を活用し、公共交通機関を活用した、徳島ならではのテーマ性のある各種プランをDMO等観光振興団体や県内観光事業者等と連携し、専門家からの意見聴取やファミツアーを実施するなど、ブラッシュアップに努めた。また、海外発信に向けたPR動画や、公共交通機関を活用した利用者向けの資料を作成した。

② 各種インバウンド商談会への参加

日本最大のインバウンド商談会「VISIT JAPAN トラベル& MICE マート」など各種商談会に出展し、本県の観光PRを行い誘致を図った。

ア VISIT JAPAN トラベル& MICE マート2023

(主催) 日本政府観光局(JNTO)

(参加者) 海外バイヤー280名、国内セラー300社・団体

(開催日時) 令和5年10月26日(木)~10月28日(土)

(開催場所) インテックス大阪 6号館Dホール

(商談件数) 28社

イ 四国ツーリズム創造機構四国インバウンド商談会への参加

(主催) 一般社団法人四国ツーリズム創造機構

(参加者) 海外旅行社、ランドオペレーター、OTAなど21社

(開催日時) 令和5年11月29日(水)

(開催場所) 阿波観光ホテル 5Fクリスタルパレス

(商談件数) 9社

③ 中国・香港からの誘致

ア 県上海事務所SNSにて徳島木のおもちゃ美術館をオンラインライブ配信

フォロワー1万4千人以上を持つ徳島県上海事務所SNS微博（ウェイボー）にて「徳島木のおもちゃ美術館」を中継配信し、中国国内の徳島県の認知度向上と徳島ファンの獲得を図った。

（実施日時）令和5年7月11日（火）13：30～14：30（日本時間）

（実施場所）徳島木のおもちゃ美術館

（協力）徳島県上海事務所、徳島県スマート林業課、木のおもちゃ美術館

イ 香港ブックフェア2023への出展

香港最大級イベントとして定着している香港ブックフェアへの出展をし、本県の観光PRを行い誘致を図った。

（開催日時）令和5年7月19日（水）～25日（火）

（開催場所）香港コンベンション&エキシビジョンセンター

（出展社数）760 団体以上（39以上の国、地域より）

（来場者数）99万人

ウ ツアー造成提案やお出迎え等受入支援

（ア）中華圏からの遍路ツアーや各種テーマツアーの受入支援

・4月5日（水）～11日（火） 遍路ツアー 25人

・4月16日（日）～22日（土） 遍路ツアー 25人

・5月7日（日）～15日（月） お茶をテーマにしたツアー 14人

徳島特有の「瀧名茶」や「上勝番茶」を体験、料亭で日本料理を体験

・6月14日（水）～21日（水） 遍路ツアー 24人

・7月23日（日）～30日（日） 四国・中国満喫ツアー 55人

徳島（鳴門の渦潮、大塚国際美術館、阿波おどり会館、大歩危、祖谷かずら橋）、愛媛、広島、岡山等を周遊

・11月20日（月）～12月22日（土） 遍路ツアー 25人

・11月26日（日）～12月1日（金） 遍路ツアー 25人

・令和6年1月15日（月）～20日（土） 四国別格二十霊場参り 12人

（イ）中国旅行社に提案し、ツアー商品の造成を図った。

・中旅総社（江蘇）からのツアー

令和6年1月18/22/25日～、1月29日～、2月19/22日～、6日間
行程：大阪-神戸-徳島-香川-倉敷-岡山-鳥取

・上海錦江旅游からのツアー

令和6年2月9日（金）～14日（水）、6日間 21人

行程：愛媛-徳島-香川-岡山-広島

・上海東航国際旅行社からのツアー

令和6年3月11日（月）～15日（金）、5日間 28人

岡山後楽園、鳴門大塚国際美術館、姫路城など回るルート

エ 旅行会社視察支援

香港の旅行会社と連携し、キャンプ場を活用したインセンティブツアーの企画提案のため、美馬市「四国三郎の郷」でのバーベキューハウスを活用した懇親会や、宿泊棟、交流体験棟の会議室などの視察を実施した。

(日程) 7月6日(木)
(視察先) 四国三郎の郷、うだつの町並み
(参加者) 香港旅行会社2名

④ 台湾からの誘致

ア 四国教育旅行説明会の実施

コロナ禍後の訪日台湾教育旅行の早期再開を見据え、台湾国際教育旅行聯盟2.0やIERC(国際教育資源センター)の協力を得て、四国教育旅行説明会を実施した。

(日時・場所) 6月7日(水) 14:00~16:00

台北市立松山高級中学

6月8日(木) 14:00~16:00

台中市立惠文高級中学

6月9日(金) 10:00~12:00

高雄市立高雄女子高級中学

※9日午後に国立台南高級商業職業学校を営業訪問した。

(参加者) 台北会場: 31名、台中会場: 44名、高雄会場: 27名

※各地域の学校長、教育旅行担当者

イ 現地セミナー・個別相談会(JNTO主催)

日本政府観光局(JNTO)が主催する訪日教育旅行促進事業現地セミナー・個別相談会に参加し、台湾学校関係者と個別相談会を実施した。

(実施日・場所) 6月12日(月) 台北市(台北喜來登大飯店)

13日(火) 高雄市(高雄萬豪酒店)

(参加人数) 【台湾側】 210名 / 【日本側】 35団体

ウ 日台教育旅行関係者交流会・台湾教育関係者招請事業

日本政府観光局(JNTO)が主催する「日台教育旅行関係者交流会」に参加するとともに、国内招請事業として台湾教育関係者を四国に招き、四国徳島の観光資源等を紹介した。

・日台教育旅行関係者意見交換会

(開催日時) 令和5年10月17日(火) 9:30~13:30

(開催場所) 東京都(ヒルトン東京お台場)

(参加者数) 【台湾側】 75名、【日本側】 80名

・台湾教育旅行関係者四国招請

(開催日程) 令和5年10月17日(火)~21日(土)

※18日~19日徳島視察

(行程) 18日 交流会(阿波木偶箱廻しを紹介)

ホテルサンルート徳島泊

19日 「徳島県立脇町高等学校」視察

脇町うだつの町並み散策・三味線餅つき体験

昼食、大歩危峡観光遊覧船、西祖谷かずら橋

(視察者) 新北市南強高級工商職業學校 校長 李恆霖
國立新化高級工業職業學校 校長 林聰明
臺北市私立泰北高級中學 教務暨國際部主任 阮鳳臨
國立頭城家事商業職業學校 校長 汪冠宏
新竹縣內思工業高級中等學校 校長 湯誌龍
臺北市立松山高級工農職業學校 圖書館主任 王順賢
新北市立清水高級中學 校長 賴來展
國立蘇澳高級海事水產職業學校 校長 陳永峰

工 高級中等以下学校国際教育交流聯盟と協定締結

令和元年に台湾国際教育旅行聯盟と締結した包括連携協定について、前身の団体から令和4年8月に新しく発足した高級中等以下学校国際教育交流聯盟と新たに協定を締結した。

(日時) 12月13日(水) 10:00~11:00

(場所) 高級中等以下学校国際教育交流聯盟事務局

※国立虎尾高級農工職業学校内

(調印者) 高級中等以下学校国際教育交流聯盟 執行長 李重毅

四国ブロック広域観光振興事業推進協議会 会長

(公社) 日本観光振興協会四国支部 支部長 泉雅文

(参加者) 台湾側 各區辦事處長など21名

四国側 各県観光協会など 6名

才 教育部國民及學前教育署表敬訪問

(日時) 12月13日(水) 14:50~16:00

(場所) 教育部國民及學前教育署(台中市)

(応対者) 教育部國民及學前教育署 原民特教組 李菁菁 専門委員

教育部國民及學前教育署 國際及少數族群教育科 高靜瑜 科員

カ 学校訪問

昨年度と今年度に国内招請で四国コースに参加した校長等の学校を訪問(北部・南部)し、四国教育旅行について打合せを行った。

※訪問できなかった中部・東部の学校については、来年度訪問予定。

(訪問日・訪問学校)

12月12日(火) 国立新化高級工業職業学校、台南市聖功女子高級中学、屏東縣立東港高級中学、国立台南高級商業職業学校

14日(木) 新竹市私立曙光女子高級中学、国立竹東高級中学、新竹縣内思工業高級中学、国立龍潭高級中学、桃園市立桃園特殊教育学校

15日(金) 台北市私立泰北高級中学、新北市南強高級工商職業学校、新北市立清水高級中学

キ 中華民国観光産業国際行销協会内教育旅行誘致委員会と協定締結
今後の四国と台湾の教育旅行における相互交流推進を図るため、中華民国観光産業国際行销協会内に昨年11月に発足した教育旅行誘致委員会の四国視察ツアーを実施し、包括連携協定を締結した。

・四国視察ツアー

(日程) 3月22日(金) 高松イン、視察、徳島県泊
23日(土) 視察、高知県泊
24日(日) 視察、愛媛県泊
25日(月) 視察、香川県泊
26日(火) 視察、交流協定締結、高松アウト

(参加者) 中華民国観光産業国際行销協会
徐銀樹榮譽理事長、秦文沂理事長、尤敏華理事
致良出版社 艾天喜社長(日本語テキスト出版社社長)

・包括連携協定式

(日時) 3月26日(火) 10:00~

(場所) 高松市(栗林公園商工奨励館)

(調印者) 中華民国観光産業国際行销協会教育旅行誘致委員会 徐銀樹
四国ブロック広域観光振興事業推進協議会 会長
(公社) 日本観光振興協会四国支部 支部長 泉雅文

(参加者) 台湾側 台北駐大阪経済文化弁事処課長など7名
四国側 各県観光協会など 9名

ク 台湾阿波踊り推進協会と連携した徳島観光PR事業

徳島と縁のある慶修院において、台湾阿波踊り推進協会の阿波踊り連が定期的に公演を実施し、徳島県の観光PRができるよう、花蓮県文化局と慶修院を表敬訪問し合意を得た。

(日時) 令和6年3月12日(火)

(場所) 花蓮県文化局、吉安慶修院

(参加者) 花蓮県文化局科長 黃用斌
吉安慶修院執行長 陳義正
台湾阿波踊り推進協会会長 王嘉宏
灣生回家プロデューサー 范健祐

ケ 訪日台湾教育旅行受入支援

(学校名) 台北市立中正國民中学(生徒32名、教師3名)

(日程) 令和5年7月17日(月)、19日(水)

(内容) 三味線餅つき、和服着付け、阿波おどり会館、祖谷かずら橋、渦の道

(学校名) 台北市立長安國民中學・台北市東門國民小學
(生徒66名、教師等10名)

(日程) 令和5年7月18日(火)~20日(木)

(内 容) 阿南市立富岡小学校、藍住町立藍住中学校、藍住町立藍住東中学校と学校交流、阿波おどり会館、徳島市内泊

(学校名) 台北市幼華高級中学 (生徒33名、教師等2名)

(日 程) 令和5年10月14日(土)

(内 容) 三味線餅つき、和服着付け

(学校名) 台南市天主教聖功女子高級中學 (生徒21名、教師2名)

(日 程) 令和5年10月15日(日)～17日(火)

(内 容) 徳島県立徳島北高等学校と学校交流、大歩危峡観光遊覧船、阿波踊り会館、阿波十郎兵衛屋敷、徳島市内泊

(学校名) 國立彰化師範大學附属高級工業職業学校

(生徒30名、教師2名)

(日 程) 令和5年12月4日(月)～5日(火)

(内 容) 藍染め体験、阿波踊り会館、大歩危峡観光遊覧船、徳島市内泊

(学校名) 國立新化高級中學 (生徒33名、教師4名)

(日 程) 令和5年12月10日(日)～13日(水)

(内 容) 徳島県立那賀高等学校、徳島県立富岡西高等学校と学校交流、渦の道、藍染め体験、阿波踊り会館、徳島市内泊、阿南市内泊、富岡西高等学校生徒家庭泊

(学校名) 國立台南高級商業職業学校 (生徒37名、教師4名)

(日 程) 令和5年12月20日(水)、21日(木)

(内 容) 大歩危峡観光遊覧船、阿波おどり会館

(学校名) 國立彰化女子高級中学 (生徒58名、教師4名)

(日 程) 令和6年1月26日(金)～27日(土)

(内 容) 阿波おどり会館、南阿波よくばり体験泊

(学校名) 新北市立新莊高級中學 (生徒52名、教師4名、PTA4名)

(日 程) 令和6年2月21日(水)～22日(木)

(内 容) 渦の道、阿波踊り会館、三味線餅つき、和服着付け、そらの郷泊

コ 台湾大商談会への参加

(主催) (一財)関西観光本部

(参加者) 台中旅行社42社、台北旅行社96社

関西広域エリア内観光関係団体 65団体

(開催日時) 令和6年2月21日(水)～22日(木)

(開催場所) 台中(スプリングランド台中)・台北(シェラトングランド台北)

(商談件数) 17社

⑤ その他の国からの誘致

徳島県や四国ツーリズム創造機構と連携し、韓国・タイ・マレーシアなどの東・東南アジアを主軸に教育旅行やインセンティブ旅行の誘致に努めた。

- ・マレーシア旅行博「MATTA FAIR September2023」への出展
(開催日時) 9月1日(金)～9月3日(日)
(開催場所) マレーシア・クアラルンプール
(実施内容) にし阿波エリアを中心に、徳島の観光PRを実施した。
- ・MITM TRAVEL FAIR 2024への出展
(開催日時) 3月15日(金)～3月17日(日)
(開催場所) マレーシア・ジョホールバル
(実施内容) にし阿波エリアを中心に、徳島の観光PRを実施した。

施設等管理運営事業

1. 徳島県立産業観光交流センター(アスティとくしま)の管理運営事業

(1) 指定管理業務の充実・強化策

当協会が継続してアスティとくしまの管理運営を担うこととなった、第4期(令和3年度から令和7年度まで)の3年目であったが、前年度からの新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの開催がオンラインやハイブリッド型に多様化したことなどもあり、リアル開催は十分には回復していない状況にあった。

しかし、5月に新型コロナの感染症法上の位置づけが「5類」に移行したことなどを受け、多目的ホールでのイベントを延期や中止などで見合わせていた主催者に加え、新たな主催者等によるイベントの利用促進を図るため、「新規利用が期待できる主催者」や「リピーター等の主催者」の事務所を訪問するなど積極的な誘致活動に取り組んだ。

また、施設の管理運営の効率化や施設への誘致活動等としては、県外で開催された「全国展示場連絡協議会」への参加の他、MICE等の誘致においては、当協会のコンベンション部門と連携し、「中四国地区合同コンベンション誘致懇談会」や「国際MICEエキスポ」などへ参加するなど営業活動を行った。

なお、令和5年度は【アスティとくしま開館30周年記念】のため、「周年記念イベントの開催」や「記念モニュメント等の作成」、「ホームページのリニューアル」などの30周年関連事業を実施し、交流人口の拡大及び地域の活性化を図った。

① 利用状況

内 訳	令和4年度	令和5年度	前年比
多目的ホール・会議室			
開館日数	310日	356日	114.8%
稼働日数	190日	216日	113.7%
稼働率	61.3%	60.7%	99.0%
使用料金額(ホール・会議室)	82,080,450円	81,494,678円	99.3%

内 訳	令和4年度	令和5年度	前年比
駐車場			
利用台数	131,111台	147,601台	112.6%
利用金額	26,222,200円	29,520,200円	112.6%

② 全国展示場連絡協議会への参加

昨年度に引き続き、リアル開催での全国展示場連絡会議へ参加し、施設の管理運営の効率化や施設への誘致活動等について情報交換を行った。

ア 全国展示場連絡協議会総会

（開催日）令和5年5月18日（木）

（場 所）海峡メッセ（山口県）

イ 全国展示場連絡協議会第7・第8ブロック総会

（開催日）令和5年10月20日（金）

（場 所）サンメッセ香川（香川県）

ウ 全国展示場連絡協議会第29回実務担当者会議

（開催日）令和5年11月16日（木）～17日（金）

（場 所）パシフィコ横浜（神奈川県）

エ 全国展示場連絡協議会第7・第8ブロック実務担当者会議

（開催日）令和6年2月22日（木）

（場 所）サンメッセ香川（香川県）

（2）感染症対策

新型コロナの感染症法上の位置づけが、令和5年5月8日に「5類」に移行したものの、必要最低限の感染症予防対策として、手指消毒液スタンドの設置、紫外線空気清浄機の導入等に加え、抗ウイルス・抗菌性ワックスによる共用部や備品等への処理などに努めた。

また、貸し出しを必要とする主催者には、サーマルカメラ・非接触型体温計の無料貸し出しを行った。

（3）館内設備の維持更新等

館内設備については、定期的な点検により故障や事故の未然防止に努めるとともに、設備の維持や修繕については、経年劣化状況に加え、安全性とコストの両面から優先度を決定し、県との事前協議を綿密に行いながら効率的かつ効果的に実施した。

(4) 県指定事業

① アスティおどりひろば

阿波おどり期間中の昼間対策として実施する「アスティおどりひろば」は、県内有名連に加え、県内4大学の連が参加し、15日まで上演する予定であったが、台風7号の影響により、15日は中止となった。



昨年度は新型コロナの影響もあり、午後の1日1回公演としていたが、今年度は通常どおり午前と午後の1日2回公演を行った。

(開催日) 令和5年8月12日(土)～14日(月)

(入場者) 延べ7,000名

(5) 自主事業

① アスティとくしま開館30周年記念イベント

アスティとくしまは、平成5年(1993年)10月20日にオープンし、令和5年(2023年)で開館30周年を迎えた。

開館30周年記念事業として、設置目的である交流の促進と観光・産業の振興に寄与することを目指し、「Saucy Dog It Re:ARENA TOUR」を開催し、交流人口の拡大と地域の活性化を図った。



(開催日) 令和6年3月2日(土)・3日(日)

② 開館30周年記念モニュメント等作成事業(開館30周年関連事業)

アスティとくしまのマスコットキャラクターである「アスティン」を県内在住の漫画家大東優也さんの協力によりリ・デザインし、洗練されたキャラクターに生まれ変わった。



「アスティン」のモニュメント(ポーズデザイン)は、四国大学デザインコースの学生さんに提案いただくとともに、キャッチコピーは福岡晃子さんのご協力により、「ごっつい近い! ほなけんおもっしょい! 遊びに来てだ アスティとくしま」とし作成した。

なお、記念モニュメントの除幕式を、令和5年11月3日に開催された「秋の阿波おどり」オープニングセレモニーの中で、後藤田知事(施設設置者)、藤岡理事長(施設管理者)、福岡晃子さん(キャッチコピー制作者)、金井悠真さん(アスティン像デザイン制作者)の4名で行った。

③ FM放送局活用事業(開館30周年関連事業)

これまでのイベント広報に加え、開館30周年を機に「FM放送局」を活用し、記念事業や関連事業などの状況報告の他、多目的ホールで開催されるイベント情報や駐車場の混雑予想情報等を発信し、渋滞緩和や違法駐車などの抑制につなげるとともに、地域の活性化を図った。

(放送日時) 毎週水曜日 8時10分前後から

④ 「ASTY TIME」発刊事業（開館30周年関連事業）

多目的ホールでの催し物や、今後の主なホールイベント・自主事業等の予定などを取りまとめ、開館30周年を機に「ASTY TIME」を発刊した。

また、アスティとくしまのホームページやインスタグラム、X（旧ツイッター）等で情報発信することにより、地域経済の活性化と交流人口の拡大を図った。

（配布回数） 年4回（春・夏・秋・冬）



⑤ アスティンオフィシャルファンクラブ設立事業（開館30周年関連事業）

「アスティとくしま」やマスコットキャラクターである「アスティン」を応援いただける方で、SNSアカウントをお持ちの方であれば、どなたでも入会可能（入会金や年会費は無料）な「ファンクラブ」を開館30周年を機に設立し、会員特典として、「会員証の発行」、「会員限定アスティングッズのプレゼント」、「メールマガジンの配信」などを行った。

また、アスティとくしま開館30周年記念事業「Saucy Dog It Re:ARENA TOUR」において、チケットの先行受付を可能とした。

⑥ 秋の阿波おどり

平成20年度から当協会単独事業として開催し、平成26年度から県と共同開催している「秋の阿波おどり」を今年度も開催した。

有名連による「阿波おどり大絵巻」の他、「世界阿波おどりサミット」や学生（高校・大学）による阿波おどりなどを開催するとともに、うたのおねえさん「小野あつこ」さんや人気お笑いタレント「森三中」さんのステージなどで多くの観光客で賑わった。

また、本県の郷土芸能や工芸体験に加え、特産品販売ブース、キッチンカーマルシェ等の内容を充実し、交流人口の拡大と地域の活性化に繋げた。

なお、今年度は団体バスに対する「バス助成金」の他、旅行券や徳島県の特産品セットが当たる「大抽選会」を行った。

（開催日） 令和5年11月3日（金・祝）～4日（土）

（入場者） 延べ24,000名

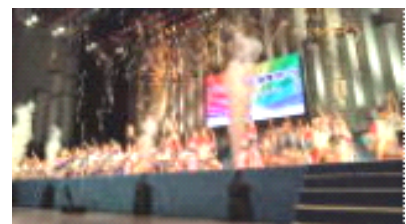
（交付件数） 1件（バス助成金）

（交付金額） 30,000円（バス助成金）



⑦ アスティ阿波奏舞祭

県内4大学の阿波おどりをメインとし、ダンスや和太鼓などの学生サークルに活動発表の場として提供しており、出演者及び来場者ともに人気を博している。第4回目となる今回は、12サークル・約260名が出演し、若さ溢れる演技が行われた。



(開催日) 令和5年11月23日(木・祝)
(入場者) 延べ350名<出演者除く>

⑧ 阿波おどり練習場所の提供と練習風景の観覧

多目的ホールの空き日を、可能な限り有名連の「はな・はる・フェスタ」や「夏本番の阿波おどり」の練習場所として提供している。

これらの情報を市内の宿泊施設等に発信し、観光客に練習風景を観覧いただくことで、観光振興とにぎわいの創出に努めた。

4月 はな・はる・フェスタの練習 12日間
5月 夏の阿波おどりの練習 9日間
6月 夏の阿波おどりの練習 13日間
3月 はな・はる・フェスタの練習 9日間

⑨ ふれあい広場等を活用した観光情報発信

ふれあい広場は、県や市町村等と連携し、県内各地のタイムリーな話題や観光情報を提供する場として有効活用しており、今年度も、引き続き写真展やパネル展等を開催し、県内各地のPR活動を支援した。

開催期間	展示内容
3/ 2～ 4/13	阿波市の魅力を届けようフォトコンテスト入賞作品展
4/18～ 5/30	DMVを活用して右下エリアで遊ぼう!
6/ 3～ 7/31	日和佐八幡神社秋祭りちょうさ(太鼓屋台)写真展
8/ 1～ 8/31	南つるぎ魅力発見!写真展
9/ 1～ 9/28	第10回千年のかくれんぼフォトコンテスト写真展
10/ 6～11/30	大阪・関西万博に向けた徳島県の取り組みパネル展
12/ 2～ 1/25	大歩危祖谷温泉郷 絶景ロマン 癒しの湯パネル展
1/27～ 2/29	鳴門百景フォトコンテスト2023受賞写真展
3/ 1～ 4/23	阿波市の魅力を届けようフォトコンテスト入賞作品展

⑩ SDGs 推進施策

今年度も引き続き、クールビズやウォームビズ対応に取り組むとともに、経営状況などを勘案し、県とも協議を行いながら館内蛍光灯のLED電球への交換など省エネルギー設備の導入を推進した。

また、CS及びESがともに向上するようジェンダーフリーで働きやすい職場づくりに取り組んだ。

⑪ イベント等開催支援助成金交付事業

新型コロナウイルス感染症等の影響により、「一定の期間開催できなかったイベント」や過去に実績があり「近年利用がないイベント」、「新規利用の主催者によるイベント」開催を後押しするとともに、施設の利用促進及び地域の活性化を図るため、一定の基準を満たしたイベント主催者等に対し、支援助成金を交付した。

リピーター等支援助成金交付事業

(交付件数) 1件

(交付金額) 110,000円

⑫ 興行への支援助成金交付事業

有名アーティストやスポーツ選手等による興行は、県外からの参加者も多数あり、宿泊や飲食を伴うなど地域への経済効果が見込まれる。

このことから、興行の開催を後押しするとともに、施設の利用促進及び地域の活性化を図るため、一定の基準を満たしたイベント主催者に対し、支援助成金を交付した。

(交付件数) 4件

(交付金額) 1,150,000円

(参加者数) 21,965名(県外16,132名、県内5,833名)

(6) 利用促進事業

① 大会・会議等の誘致事業

当協会のコンベンション部門と連携し、コンベンション誘致関連イベントに参加し、各団体や各種大会事務局等と商談するなど、コンベンション誘致を図った。

ア 中四国地区合同コンベンション誘致懇談会

(開催日) 令和5年12月7日(木)

(場 所) 品川プリンスホテル(東京都)

イ 国際MICEエキスポ

(開催日) 令和6年2月15日(木)

(場 所) 東京国際フォーラム(東京都)

ウ MICE誘致・開催における機能強化事業

観光庁等が実施する、MICE誘致・開催に関するコンベンションビューロー機能の強化に向けた支援事業について、本県が支援都市に採択されたことから、アスティとくしまも連携し研修会に参加した。

② 主催者訪問事業

昨年度、「アスティとくしま見学会」を開催したところ、参加者の中に、これまで単独で多目的ホール利用のなかった主催者も多く含まれており、見学会だけで終わることなく、直接主催者を訪問するなど多目的ホールへの誘致活動に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、多目的ホールの利用が回復していないリピーターや疎遠となっている主催者、周年記念を迎える企業等への営業活動を行うとともに、ホール利用終了後の主催者や下見来館時、打ち合わせ時の他、電話などによる営業活動等も積極的に行った。

(訪問件数) 14件

(誘致件数) 4件

(検討件数) 2件

③ ホームページのリニューアル事業（開館30周年関連事業）

アスティとくしまのホームページを検索しやすく、施設概要をはじめイベント情報や利用方法などを分かりやすくするため、開館30周年を機に10月20日にホームページをリニューアルした。



スマホユーザーが多くの割合を占めるため、リニューアルではスマホユーザーからのアクセスに配慮したサイト構造に改善した。

また、ライブカメラを利用し、アスティとくしま駐車場の混雑状況を、タイムリーに配信し近隣の混雑緩和を図るなど、有益な情報発信に務めた。

④ 地元企業等のイベント誘致事業

多目的ホール等の利用促進を図るため、企業や団体等に対しアスティとくしまを活用したイベント等の開催依頼文を送付した。

なお、アスティとくしまの「パンフレット」に加え、「多目的ホールの展開バージョン写真」や「使用料金のモデルプラン」も同封した。

（送付日） 令和5年6月6日（火）

（送付社数） 154社

⑤ 巡視員（Security manager）配置事業

大規模イベント開催時には、まれに駐車できない車両があふれ交通渋滞や違法駐車が発生し、近隣施設等から多くの苦情が寄せられている。

これまで、多目的ホールの主催者には警備員等の配置を依頼し混雑の解消を図ってきたものの、主催者による警備員配置にも限度がある。

このため、主催者側の警備員等が確実に配置されているか、また、効率よく警備が行われているかを確認しアドバイスやフォローを行うため、今年度より新たに施設側で巡視員を配置し、交通渋滞の緩和やスムーズなイベント運営を図った。

（配置件数） 5件

⑥ アスティとくしま「グルメマップ」作成事業

地域の活性化を図ることを目的に、平成30年3月にアスティとくしま近隣の飲食店マップを発行してきたが、作成から5年が経過するため掲載内容を最新の情報に更新するとともに、持ち運びに便利なポケットサイズの大きさに変更し、新たに2,000部を作成した。



(7) その他

① 津波避難誘導訓練及び消防訓練等

当施設が徳島市の「津波避難ビル・緊急避難場所」に指定されていることも踏まえ、当施設の関係者や各事業者と協力し、避難対応訓練、非常時備蓄品の確保などに努めるとともに、各種訓練を行った。

ア 第1回津波避難誘導訓練

(開催日) 令和5年5月12日(金)

(内容) 地震・津波警報の発表を想定した避難誘導訓練

「施設の安全確認」、「ライフラインの確認」、「トイレの使用禁止に伴う簡易トイレの使い方」、「備蓄品発電機の使い方」などの確認

(参加者) 39名

イ 第1回消防訓練

(開催日) 令和5年5月12日(金)

(内容) 「火災発見から初期消火・避難誘導」の説明

「119番通報(火災編・救急編)」の実施訓練

(参加者) 39名

ウ 第2回津波避難誘導訓練

(開催日) 令和5年12月18日(月)

(内容) 地震・津波警報の発表を想定した避難誘導訓練

「施設の安全確認」、「トイレの使用禁止に伴う簡易トイレの使い方」などの確認

(参加者) 41名

エ 第2回消防訓練及び救命講習

(開催日) 令和6年1月25日(木)

(内容) 通報や消火器使用方法等の実施

心肺蘇生やAED使用方法などの講習

(参加者) 39名

② 人権研修

(実施日) 令和6年1月11日(木)～1月26日(金)

(参加者) 観光協会職員

(内容) 各自でデジタルコンテンツ一覧から選択し視聴
(インターネット利用)

③ リスクマネジメント研修及び接遇研修

(実施日) 令和5年11月

(ローテーション勤務のため数回に分けて開催)

(参加者) アスティとくしま職員

(内容) 自然災害、情報セキュリティ、対人トラブルなどの危機を回避する研修

④ 災害時の避難誘導體制

災害時に備え、多目的ホールの主催者に対しては「避難誘導及び消火活動体制届出書」の提出を依頼し、緊急時の責任者及び避難誘導等に従事できる方の氏名等を報告いただいている。

実際の避難誘導については、当日出勤している協会職員が主催者と連携して対応しなければならない。

そのため、今年度より新たに、多目的ホールを利用する全ての催事において協会職員の役割も明確にした「災害時避難誘導體制シート」を事前に作成し周知している。

各人が自らの役割を事前に認識し、シミュレーションしておくことにより、発災時には主催者と連携して迅速かつ的確な避難誘導につなげていけるようにした。

2. 徳島県立男女共同参画総合支援センター（ときわプラザ）の管理運営事業

(1) 指定管理業務の充実・強化策

令和5年度はアスティとくしま同様、当協会が継続して「ときわプラザ」の管理運営を担うこととなった第4期の3年目であり、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行したことなどを受け、イベントは少しずつ回復傾向にある。

今年度は積極的にアスティとくしまの主催者訪問や県内企業へのイベント開催依頼文の送付、国際会議や全国大会等の誘致においても「ときわプラザ」の利用促進を図るための広報なども行った。

また、県外で開催された全国展示場連絡協議会第7・第8ブロックや中四国地区合同コンベンション誘致懇談会等にも積極的に参加し「ときわプラザ」の営業活動に努めた。

(2) 利用状況

内 訳	令和4年度	令和5年度	対前年比
ときわホール			
開館日数	353日	354日	100.3%
稼働日数	117日	116日	99.1%
稼働率	33.1%	32.8%	99.1%
使用料金額(ホール・会議)	10,112,520円	9,219,100円	91.2%
第5会議室			
開館日数	354日	354日	100.0%
稼働日数	185日	184日	99.5%
稼働率	52.3%	52.0%	99.4%
第6会議室			
開館日数	354日	354日	100.0%
稼働日数	122日	129日	105.7%
稼働率	34.5%	36.4%	105.5%
展示ギャラリー			
開館日数	353日	354日	100.3%
稼働日数	175日	84日	48.0%
稼働率	49.6%	23.7%	47.8%

(3) 誘致活動状況

① 主催者訪問事業

新型コロナの感染症法上の位置づけが「5類」に移行したことを受け、アスティとくしまでのイベント開催を見合わせていた主催者の事務所などを訪問し、イベントの開催依頼を行ったが、併せてときわプラザの利用についても依頼した。

② ホームページのリニューアル事業

アスティとくしまホームページのリニューアルに伴い、ときわプラザについても、検索しやすく分かりやすい内容としたリニューアルを行った。

③ 地元企業等のイベント誘致事業

アスティとくしまの営業活動として、県内の企業等154社に対してイベント開催依頼文を送付したが、ときわプラザの利用も併せて行った。

④ 大会・会議等の誘致事業

当協会のコンベンション部門と連携し、国際会議や全国大会等の誘致活動を行っているが、分科会等で数多くの会場を必要とする大会・会議等の場合は、ときわプラザとの併用利用の依頼を行った。

(4) 事業実施状況

項目	実施概要
徳島新聞「映画と催し」欄への掲載	「アスティとくしま」と同様に掲載し、利用者サービスの向上と施設のPRに努めた。
FM放送局の活用	「アスティとくしま」での催し物案内に加え、ときわプラザでの催し物の広報を実施し、利用者サービスの向上と施設のPRに努めた。

3. 徳島県立渦の道・大鳴門橋架橋記念館（エディ）の管理運営事業

(1) 指定管理業務の充実・強化

渦の道・大鳴門橋架橋記念館の管理運営について、共同管理運営者である(株)ネオビエントと連携し、社会情勢に見合った自主事業の開催や国内外の旅行会社等に対し直接営業やオンラインでのハイブリッドな営業活動を行った。

また、フェイスブック、X、インスタグラム及びウェイボを活用したSNSでの情報発信を強化し個人客の利用促進に繋げた。

台湾とのチャーター便の就航やクルーズ客船の立ち寄りなど、インバウンドの利用が回復基調にある中、渦の道館内で多言語アナウンスの放送を開始した。

日本語、英語、中国語の3言語で渦の道や大鳴門橋、鳴門海峡の紹介を行い施設案内等の充実に努めた。

(2) 利用状況

内 訳	令和4年度	令和5年度	前年比
渦の道			
入館者数	458,933人	541,746人	118.0%
入館料	181,937,490円	216,235,340円	118.9%
エディ			
入館者数	54,454人	65,148人	119.6%
入館料	21,156,860円	26,202,760円	123.8%

(3) 渦の道・大鳴門橋架橋記念館の共通利用促進

① 旅行者等への営業活動

徳島県や四国ツーリズム創造機構が主催する旅行会社との商談会に参加した。新型コロナウイルス感染症の影響もなくなり、対面で実施され、鳴門公園周辺施設、県内観光・宿泊施設など、点ではなく面で話をする事で県内での宿泊や滞在時間の延長を提案し、周遊観光の促進に努めた。



② 「阿波ナビスタンプラリー」などへの参画

徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」のリニューアルに伴い、新たに付加された「阿波ナビスタンプラリー」や、一般社団法人鳴門市うずしお観光協会が行う「くるくる回ろう鳴門ドライブスタンプラリー」に参画し、県内の周遊促進に協力した。



③ 鳴門公園地域渋滞対策事業

新型コロナウイルス感染症の扱いが5月8日に2類から5類へ移行されることが決まる中、多くの観光客が集中するGW期間（5月3日～6日）とお盆期間（8月12日～15日）に、亀浦観光港に臨時駐車場を設け鳴門公園までのシャトルバスを運行し渋滞緩和の一助とした。なお、お盆期間の8月15日は台風の影響により運行を中止した。

④ モニタリングの実施等

渦の道・エディで利用者等に向けたモバイルアンケート実施や、教育旅行の引率教員へのアンケート実施、渦の道ロビーには「思い出ノート」を設置するなど、様々な意見や情報を基に、今後の営業活動や顧客満足度向上の参考とした。

(4) 渦の道の利用促進

① 「鳴門公園コンシェルジュ」案内活動

新型コロナウイルス感染症が5類に移行となり来場者も増える中、鳴門公園コンシェルジュによる観光ガイドも本格的に活動を再開することとなった。今後も渦潮や鳴門公園エリアの魅力などを語る中心的な存在となるよう、案内技術をブラッシュアップしながら実施する。

② 夕活による利用促進

夕方に大潮が当たる期間（10月27日～10月29日）を活用して1時間閉館時間を延長し、満月の中に浮かび上がる渦潮や雄大な鳴門海峡をご覧いただくなど、普段は体験することができない渦の道を愉しんでいただいた。（夕活入場261名）

③ 初日の出イベント

「初日の出in渦の道」を開催し、早朝からカメラやスマホを手にしたお客様が日の出方向を一心に見つめる様子で溢れた。

また、温かい飲み物の振る舞いも行い、待ち時間に暖を取っていただけるよう努めた。

（1月1日 初日の出入場約270名）



(5) 大鳴門橋架橋記念館の利用促進

① 「大鳴門橋のあゆみ」写真展

3F多目的スペースにて、大鳴門橋建設当時の貴重な資料や写真を活用し、大鳴門橋ができるまでを時系列で写真展示するなど、当時は“夢の架け橋”と呼ばれたことや架橋への強い願い、建設に関わった方々の苦労などが伝わるアーカイブ展となった。

（6月1日～3月30日）

② 「藍四人企画展」開催

3F多目的スペースにて、公益財団法人徳島県物産協会と協力し、県内在住の4人の藍染作家の作品を展示し、“阿波文化”の魅力を徳島県内外や海外の観光客に発信した。7月24日「藍染の日」には、藍染作品が印刷されたポストカードを先着100名に配布しPRに努めた。

（6月27日～7月27日）



③ 「千年のかくれんぼフォトコンテスト」作品展

3F多目的スペースにて、一般社団法人三好市観光協会と協力し、「千年のかくれんぼ 第10回フォトコンテスト」の受賞作品26点を展示した。剣山や大歩危・小歩危、祖谷のかずら橋など、三好市の魅力あふれる写真を通じ、徳島の玄関口である鳴門から県西部への誘客に努めた。

(8月1日～8月31日)

